

## 【2021年8月例競技での感染対策特記事項】

2021年8月20日

関東学生ゴルフ連盟  
感染対策委員会リーダー  
金井 毅

加盟校、加盟員の皆さま

平素より本連盟の競技運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

既報の通り、2021年度の「月例競技会」は事前の検査を行なわない「日帰り1R競技」ですが、ご承知の通り、首都圏はじめ全国規模での感染急拡大に伴い、8月月例競技は、より一層の感染対策を講じる必要があります。またこの時期は「熱中症」の懸念もあり、そちらの面でもケアしなければならず、下記に特に遵守すべき特記事項を記載させていただきます。

\*下記掲載以外の点は大きな変動はない為、5月～7月月例「感染対策要項」を必ず熟読下さい。

### ①競技場内で、感染が発覚した場合について

本連盟では、選手、関係者の皆さまの生命と安全を守る上で、

競技会場内にて、Covid-19（通称：新型コロナウイルス感染症）の感染者が発見された場合、当該競技は中止といたします。

但し、『感染者発見が、当日競技終了後の場合、その日の競技は成立とする。』

### ②ロッカー並びに脱衣所利用について

本競技に関しては、猛暑の中、汗をかいたままの状態を放置し、健康を害するリスクも考慮し、ロッカー使用並びに脱衣所での着替えを認可します。但しディスタンスをとり、マスク着用、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用が前提条件。\*マイタオル持参が望ましい

また、ガイドラインでは原則禁止だが、豪雨や汗による全身が濡れた状態で、それを洗い流す為、希望する選手にはシャワー利用も今回は認可するが、前述同様、脱衣所でディスタンスをとり、マスク着用、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用（10～15分程度）の遵守徹底をお願い致します。

\*ロッカー、脱衣所、シャワーを使用しに行く為の導線に消毒液を設置しますので、使用開始時、そして終わった際にその消毒液で手指消毒を必ず励行して下さい。

**「なにごとも、始めと終わりは手指消毒」は、感染対策に大いに役立ちます。**

### ③「熱中症」へのケアについて（ガイドライン P17～18 参照）

この時期、感染症と共に、ケアしなければならない一つに熱中症が挙げられます。その症状は、脱水症状はもとより、発熱や意識の朦朧、息苦しさも見られ、コロナ感染症にも酷似しており、より一層の注意が必要です。

- ・試合に臨むにあたり体調管理に努める(特に寝不足、疲労、食生活の乱れは要注意)。
  - ・水分補給→最低でも1日2~3リットルの水やスポーツドリンクでこまめに補給する。
  - ・体温調節→「日傘」を必ずさして下さい！ \*今大会の「遵守事項」とします。
- 環境省が測定した結果、日傘をさすことで、WBGT(暑さ指数)が2~3度低くなることがわかりました。命を守る上でも、プレーのパフォーマンスを保つ上でも役に立ちます。
- ・身体をクールダウンさせる熱中症対策グッズも有効。
  - ・飲料・食べ物を入れる「ミニ保冷バッグ」も携行することをお勧めします。
  - ・体調的に「辛い」「苦しい」と感じたら、無理をせず、リタイアを申し出て下さい。
- \*競技の成績も大切ですが、それよりも「健康」「命」の方が大切です。**

★試合中、体調に異変をきたした場合 \*COVID-19、熱中症の症状含む  
 外傷など、理由がはっきりしている場合を除き(例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した或は本人がわかっている自己疾患等)、速やかにその症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出て下さい。その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・本競技では、**すぐに119番(救急車)へ連絡します。**(そこで適切な対応して貰う)

症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。その勇気によって、クラスターを断ち切る対応が可能となりますし、何よりも大切な参加者の「命」「健康」を救う判断となります。

- ④入場チェック前(会場への出発前)に必ず守って頂きたい約束事
- 感染対策の大切なポイントとして、出場選手は、以下の点を必ず遵守して下さい。**
- 1) 当日の朝(試合会場へ出発前)に、発熱症状或いは体調を崩していないか?!
  - 2) 上記該当する選手は、感染対策の見地で、絶対にコース入りしないで下さい。
  - 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていないか?また、**記入漏れ(特に平均体温や氏名、連絡先など)がないか?**

以上です。

その他の部分は、5月~7月月例の感染対策要項並びにガイドラインを再確認して下さい。

感染力の強いデルタ株が猛威をふるっており、首都圏では「**災害級レベル**」の感染急拡大とまで言われております。人から人へと伝搬するこの感染症が、肉体だけでなく、精神的にもダメージを与え、周囲を巻き込むものであるからこそ、感染対策をしっかりと行ない、皆さんや関係者の方々の健康・命・精神(こころ)を守りたいと思っております。

**PCRや抗原検査を行わない競技開催は、参加者・関係者皆さんの「自覚と責任」が前提で、そこを信頼しているからこそ実現できるものであります。**ぜひとも安心安全な競技開催へのご協力を 何卒、宜しくお願い申し上げます。